

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月29日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社免疫生物研究所

コード番号 4570 URL <http://www.ibl-japan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清藤 勉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長

(氏名) 中川 正人

TEL 0274-22-2889

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	197	△18.3	△36	—	△35	—	△45	—
23年3月期第1四半期	242	12.4	△75	—	△76	—	△73	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△73.18	—
23年3月期第1四半期	△119.77	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,218	2,004	90.4
23年3月期	2,261	2,048	90.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,004百万円 23年3月期 2,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	430	△13.7	△50	—	△50	—	△52	—	△84.36
通期	910	△14.1	10	—	25	—	20	—	32.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	616,400 株	23年3月期	616,400 株
24年3月期1Q	14 株	23年3月期	14 株
24年3月期1Q	616,386 株	23年3月期1Q	616,387 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、これまで穏やかな回復基調にありましたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故などの影響により、甚大な被害、影響を受け、先行きは極めて不透明な状況で推移しております。

当社が事業を営む業界については、大手製薬企業各社は、製品の特許期間の満了に伴う収益の悪化、いわゆる2010年問題など業界を取り巻く大きな環境変化に対応すべく、合併などによる企業規模の拡大、体質改善などを繰り返し行い成長の道を模索しております。しかし、医療費抑制策の強化、研究開発費の高騰と開発リスクの増大、ジェネリック医薬品の普及・拡大、長期収載品の大幅な引き下げなどにより、経営環境は継続して厳しい環境にあります。

このような環境下、当社の事業別の売上高は以下の通りとなりました。

研究用関連事業については、自社独自の抗体製品及び測定キットが、順調に推移し前年同期を上回り、利益率の改善を伴い利益に貢献しております。一方、事業見直しを行っております実験動物関連は、米国タコニック社の製品販売がなくなったことにより（前年実績は60,418千円）、前年同期を大きく下回りました。その結果、研究用関連事業の売上高は、158,188千円（前年同期比22.5%減）となりました。

医薬関連事業については、体外診断用医薬品の販売が堅調に推移したことにより、売上高は、39,519千円（同4.2%増）となりました。

また、当第1四半期累計期間における製造原価、販売費及び一般管理費につきましては、前事業年度の組織再編による人員の合理化等の施策が功を奏したことや自社開発製品の販売割合が増加したことにより、コストの大幅削減を達成することが出来ました。

これらの結果、売上高は197,707千円（前年同期比18.3%減）、営業損失は36,467千円（前年同期は75,354千円の営業損失）、経常損失は35,491千円（前年同期は76,288千円の経常損失）、四半期純損失は45,109千円（前年同期は73,826千円の四半期純損失）となり、利益面では、損失が前年より大きく改善いたしました。これは、前期より実施しているコスト改善に向けた施策が順調に進んでいることを示すものであり、前期と同様に、営業C/Fのプラス転化はもちろん、当事業年度の黒字化及び中期経営計画達成に向け順調に推移していると考えております。

(参考) セグメント別売上高

単位：千円

セグメント	当第1四半期累計期間	前第1四半期累計期間	増減
研究用関連事業	158,188	204,126	△22.5%
研究用試薬関連	153,260	143,707	6.6%
実験動物関連	4,927	60,418	△91.8%
医薬用関連事業	39,519	37,919	4.2%
体外診断用医薬品販売	39,519	37,919	4.2%
合計	197,707	242,046	△18.3%

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産の変動について)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末比1.9%減の2,218,219千円となりました。これは主に、前期末にかけて残高が増加した受取手形及び売掛金の回収が当期に進んだことによる受取手形及び売掛金の減少25,415千円及び減価償却等により有形固定資産及び無形固定資産が19,360千円減少したこと等によるものであります。

(負債の変動について)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末比0.7%減の213,984千円となりました。これは主に、借入金の返済により長期借入金が7,850千円減少したことによるものであります。

(純資産の変動について)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末比2.2%減の2,004,234千円となりました。これは主に第1四半期純損失の計上によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません、

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、平成20年3月期、平成21年3月期、平成22年3月期及び平成23年3月期において継続して営業損失を計上しておりますが、平成22年10月22日公表の「中期経営計画」の施策を着実に実行し、平成23年3月期下期の営業利益黒字化及び通期の営業キャッシュ・フロー黒字化を達成することが出来ました。さらに、今後は平成24年3月期の営業利益の黒字化を図るため、平成23年4月18日公表の「中期経営計画」の重点施策を着実に実行してまいります。

(今後の主な重点施策)

- ① 自社開発製品販売において、国内外の販売強化を目的とする他社との業務提携を積極的に行い、国内外における市場での評価が高い当社製品の販売網を整理・拡大し、自社ブランドの抗体製品やキット製品の販売増に注力してまいります。
- ② 研究開発及び商品開発において、当社の強みであるアルツハイマー病、がん及び炎症はもとより、糖及び脂質代謝関連疾患の領域に有用な技術や知見を有する、他のバイオベンチャー企業と積極的に提携し、診断や治療への応用を視野に入れた新製品開発を集中的に推進してまいります。
- ③ 遺伝子組換えカイコによる抗体生産技術を早期に確立し、自社抗体製品の生産効率を飛躍的に改善していく所存であります。また、研究用試薬、診断薬原料などへの販売に向けた実用化、さらに将来に向けてカイコによる医薬品への挑戦を推進してまいります。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	349,785	340,711
受取手形及び売掛金	234,988	209,573
有価証券	25,000	25,000
商品及び製品	47,042	66,407
仕掛品	116,273	120,238
原材料及び貯蔵品	61,777	62,130
その他	26,326	15,516
貸倒引当金	△56	—
流動資産合計	861,137	839,578
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	613,804	594,234
土地	362,687	362,687
その他(純額)	98,320	103,453
有形固定資産合計	1,074,812	1,060,375
無形固定資産	80,922	75,998
投資その他の資産		
投資有価証券	185,676	186,272
その他	58,593	55,994
投資その他の資産合計	244,269	242,267
固定資産合計	1,400,004	1,378,641
資産合計	2,261,142	2,218,219
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,123	15,672
1年内返済予定の長期借入金	31,400	31,400
未払法人税等	7,539	1,801
賞与引当金	3,773	957
その他	64,834	84,742
流動負債合計	124,670	134,574
固定負債		
長期借入金	86,000	78,150
退職給付引当金	184	—
その他	1,538	1,260
固定負債合計	87,723	79,410
負債合計	212,393	213,984

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571,810	1,571,810
資本剰余金	1,416,578	491,753
利益剰余金	△924,824	△45,109
自己株式	△16	△16
株主資本合計	2,063,547	2,018,437
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,799	△14,202
評価・換算差額等合計	△14,799	△14,202
純資産合計	2,048,748	2,004,234
負債純資産合計	2,261,142	2,218,219

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	242,046	197,707
売上原価	125,215	79,699
売上総利益	116,830	118,008
販売費及び一般管理費	192,184	154,475
営業損失(△)	△75,354	△36,467
営業外収益		
受取利息	117	116
保険解約返戻金	311	1,525
その他	92	166
営業外収益合計	522	1,808
営業外費用		
支払利息	279	456
為替差損	1,177	221
その他	—	154
営業外費用合計	1,456	832
経常損失(△)	△76,288	△35,491
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	5,198	—
その他	826	—
特別利益合計	6,025	—
特別損失		
減損損失	—	9,151
投資有価証券売却損	2,764	—
特別損失合計	2,764	9,151
税引前四半期純損失(△)	△73,026	△44,643
法人税、住民税及び事業税	799	466
法人税等合計	799	466
四半期純損失(△)	△73,826	△45,109



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。